

むらやま 議会だより



写真／ポップキャンディーズ
戸沢地域ふるさとづくり演芸大会にて



←携帯からはコチラ

3月
定例会

00万円
08万円
を可決

整備／徳内大橋の改修工事



改修予定の徳内大橋

平

成31年第1回定例会は2月28日から3月20日までの会期で開催され、新年度

予算などを審議しました。

一般会計では、楯岡高校跡地利活用施設改修事業・徳内大橋の改修整備事業・子育て世帯支援事業・実践的ICT教育研修事業など126億2千万円（対前年比4.0%減）となりました。

新年度予算のほか、条例の一部改正など17件、補正予算7件が提案され、新年度予算9件は予算特別委員会に付託し、全議案原案のとおり可決し閉会しました。

条例等

◎村山市いじめ防止対策の推進に関する条例
いじめを防止するための対策に必要な事項を定めるものです。

◎村山市一般職の職員の給与に関する条例及び村山市職員の分限に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法に基づき、人事評価制度の導入などの改正を行うものです。

◎最上川美術館条例の一部を改正する条例
入館料の見直しを図るものです。

◎村山市体育施設条例の一部を改正する条例

「体育」を「スポーツ」の語に改めるものです。
◎村山市福祉センター条例の一部を改正する条例
指定管理者制度による施設運営を見直し、市直営とするものです。

◎村山市市営バスの運行に関する条例の一部を改正する条例
市営バス使用料の改定と新規路線の追加を行うものです。

◎村山市雪室施設条例の一部を改正する条例

指定管理者制度による施設運営を見直し、市直営とし、施設利用料の見直しを行うものです。

◎村山市道路占用料条例の一部を改正する条例
占用料の改正とともに、督促手数料の見直しを行うものです。

◎村山市都市公園条例の一部を改正する条例

公園の施設面積制限などの規定を整備するものです。

◎村山市河島山交流センター条例を廃止する条例
河島山自治会に譲渡するため施設を廃止するものです。

新年度
一般会計予算
特別会計予算

126億20
80億92

駅西開発に伴う道路・環境

ポイント

- 楯岡高校跡地利用基本構想の実現に向け、跡地の施設整備に着手。
- 子育て世帯の経済的負担軽減のため中学校入学応援券を発行。
- 居合道の振興と観光客増加を図るため、居合道体験プログラムの推進。



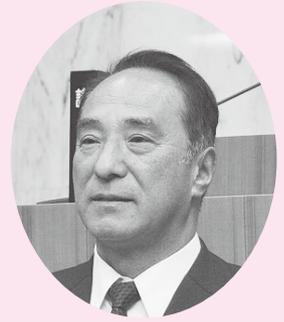
居合道体験プログラム

新年度の主な事業

| | |
|-----------------------|-----------|
| ○ 駅西開発に伴う道路・環境整備事業 | 3億4,050万円 |
| ○ 楯岡高校跡地利活用施設改修事業 | 3,000万円 |
| ○ 洪田地区住宅団地造成事業 | 2,780万円 |
| ○ 徳内大橋の改修整備事業 | 2億7,100万円 |
| ○ 中学校入学応援券事業 | 1,021万円 |
| ○ 除雪管理システム整備事業 | 1,700万円 |
| ○ 生活交通路線バス対策事業 | 3,465万円 |
| ○ 不良住宅除却促進事業まちの再生支援事業 | 1,450万円 |
| ○ 農業と観光の連携推進事業 | 682万円 |
| ○ 有害鳥獣対策事業 | 186万円 |
| ○ 居合道振興事業 | 768万円 |
| ○ 大相撲村山場所実行委員会負担金 | 260万円 |
| ○ 高規格救急車整備事業 | 4,350万円 |
| ○ ロタウイルスワクチン助成事業 | 156万円 |

- ◎ 財産の無償譲渡
河島山交流センターを無償で譲渡するものです。
- ◎ 村山市葉山林間キャンプ場条例を廃止する条例
施設の老朽化及び利用者の減少に伴い廃止するものです。
- ◎ 市道路線の認定
市道5カ所を新たな生活道とし認定するものです。
- 人事案件
- ◎ 人権擁護委員候補者の推薦
(任期満了による再任)
金谷 正實氏(楯岡)
横尾喜恵子氏(楯岡)
- ◎ 教育委員会教育長の任命
(任期満了による再任)
菊地 和郎氏(楯岡)

平成31年 予算特別委員会



海老名幸司
予算特別委員長

本委員会は、全体会及び二つの分科会において、新年度一般会計予算1件と、特別会計予算8件を慎重に審査を行ってきました。

「市民第一」である行政の姿を追求しながら、情勢変化に即応した質の高い行政サービスを提供することが重要であるとの議論がされました。

主な施策として「駅西開発と中心市街地活性化」「子育て支援と教育の充実」への重点的な予算配分の中で、実践的ICT教育研究事業などの新規事業、駅西開発に伴う道路・環境整備、東京オリピック・パラリンピックホストタウン事業の拡大などについて、活発な議論が全体会・分科会で行われました。

国の財政も厳しいなか、国や県の動向を注視し、適切な予算執行が行われるよう要望し、全会一致で可決しました。

活かせ 議員の指摘

総務文教分科会

● 駅西開発は必要不可欠な事業に位置付けられている。駅西周辺構想のイメージ図を早急に、市民に公表するよう要望する。

● 楯岡高校跡地は多様な機能をもつ複合施設として生まれ変わろうとしているが、将来に向け夢のある施設になるよう期待する。

● 全国各地であり運転が社会問題になっている。市民の安全・安心の観点から、公用車へのドライブレコーダーの設置を要望する。

● ICT環境について各市町村で対応が異なることから、教育現場の指導者が混乱を招く要因になっている。県との連携により充実が図られるよう要望する。

産業厚生分科会

● 「ホストタウンサミット」において取り組みに対する3部門で本市がすべて一位を獲得されたことは、市民も喜んでいる。オリンピックを来年に控え、ブルガリアと精力的に関わりを持ち、全国に発信していくことを期待する。

● 市内の交通対策として料金の改正を行うなど進捗が見られる。今後市営バスやデマンドタクシーの路線・運行については、利用しやすい路線になるよう期待する。

● 現年度分の収納率は向上しているが、個人市民税の滞納繰越額が多い。なお一層の強化に努めてほしい。

● 農業委員会の地道な活動により、農地と人がつながり農地の集積面積が昨年の1.7倍になっている。一方で、農業の大型化により農家が減少し地域が守れなくなる懸念がある。

産業厚生分科会

● ジュンサイの収穫量は、高齢化による摘み手不足や、水質悪化などで減少している。対策として収穫チケットの販売やジュンサイ沼のしゅんせつ工事を実施しているが、さらなる環境改善を要望する。

● 本市の7割は山林だが林業の振興には、中長期的な計画が必要である。次の世代へつなげていける施策を要望する。

● 児童虐待が問題になっているが、今後とも関係機関と連携しながら子どもの安全を最優先する取り組みを要望する。

● 農業委員会の地道な活動により、農地と人がつながり農地の集積面積が昨年の1.7倍になっている。一方で、農業の大型化により農家が減少し地域が守れなくなる懸念がある。

予算特別委員会 総括質疑

市民生活

向上に

どう活かす

教職員PCの完全貸与を望む

Q 学校教職員の自前パソコン使用は、情報セキュリティの危機につながるのではないかと。他市町村は、危機感をもって対策を行っている。全職員に早急に貸与すべきでは。

A 今回は段階的に整備するために予算をつけたが、他市との横並びの考えは賛成できない。他に優先すべきことがあるはずである。

放課後児童クラブの運営に配慮を

Q 19人以下の小規模の放課後児童クラブでは補助金が少なくなる。

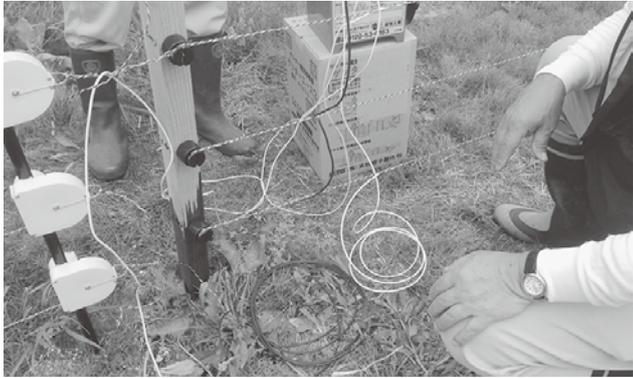
対応は。

A 少人数対応として委託料小規模加算をしている。一定の運営ができるように、引き続き配慮をしていく。

有害鳥獣対策として猟友会への支援は不可欠

Q 有害鳥獣対策として猟友会に補助を増やすべきでは。

A 来年度より捕獲に対する謝礼と猟友会支援負担金を増額している。



防御柵と駆除が大切な有害鳥獣対策



雪室で抑制栽培中の啓翁桜

東京五輪で農産物をはじめ、村山のPRを

Q 東京五輪で村山市産啓翁桜を咲かそうプロジェクトは評価する。あわせて村山産の農産物の提供を検討しては。

A 米、スイカなど農家の生産意欲にもつながるもので、検討する。

利用しやすい子育て相談窓口を

Q 子育て世代包括支援セン

ター事業について。

A 妊娠前から切れ目のないサポート体制をとるため、甌葉プラザ内に、相談窓口の一元化を行う。

最上川周辺の観光ブラッシュアップ

Q 最上川を核とした観光の促進に期待するが最上川景観整備事業については。

A 三カ瀬橋周辺、長島地区に三カ瀬眺望広場を整備する。



最上川三難所のひとつ三カ瀬

消防団員報酬の増額は

Q 団員報酬額は今年度より増額されるのか。

A 今年度と同額に計上している。まずは、団員の処遇改善、安全に災害活動が出来るよう設備や装備品の充実を図る。

Q 前年3月議会で、団員報酬も含めた向こう10年先を見据えた消防の未来像を検討すると答弁があった。団員報酬年額1万8千円はあまりにも少ないのでは。

A 人口減少や若者の地元離れなど団員確保がさらに深刻さが増すことが予想される。団員数の適正化や機動力のある車両配備計画を策定中であり、平成31年度中に機構改革案を提示する予定である。消防団の魅力発信として、新年度は新基準の活動服を全団員に支給するなどハード面の整備完了後、団員報酬の見直しを検討する。



消防出初め式の分列行進



高橋 菜穂子

多子世帯への支援を充実させては

答弁 給食費の助成対象を拡大する

Q 児童虐待防止の本
市の取組み体制は、
子育て支援課に、

A 要保護児童対策地
域協議会の事務局を置
き、学校・保育施設・
児童委員民生委員・保
健課・児童相談所など
と連携して対応してい
る。相談窓口も、子育
て支援課内に設置して
いる。

A 第三子以降の給食
費全額助成の対象
を拡大する。

Q 激減する河西地域
の人口対策を望む。

A 大久保の北山に見
童遊園を整備し河
西のセントラルパーク
にしたという構想が
地元の人から上がって

Q 河西地域の中心は
どこなのか。河西
地域の広域的な計画が
必要であり、それに基
づいた整備を行うべき
である。また、保護者
は屋内の遊戯施設を求
めている。

いる。

公務職場で働く非
正規公務員は、平
成28年の調査によると
64万人を超え、3人に
1人は非正規職員とい
う状況である。年収2
00万円に届かない人
も多く、正規職員の4
分の1から3分の1の
賃金水準である。来年
4月から地方自治体で
働く非正規職員の雇用
が、地方公務員法の一
部改正により変わる。
新設される「会計年度
任用職員」に統一され、
手当や休暇など処遇が
改善される見込みだが、
市当局の基本的考えを
伺う。

A 今のところ考えて
いない。

Q 合計特殊出生率の
上昇、また市内の
出生率の増加を期待し
て、多子世帯への支援
が重要と考える。すく
すく手当て、保育料無
償化、給食費の助成な
ど拡充してはどうか。

いる。



国道347号と県道294号の交差点付近



正 結城

正 会計年度任用職員制度の導入について

答弁 改正法に伴い適正に実施する

Q 詳細については6
月定例議会に条例
案を提出する。その時
点で議論を深めたい。

A 大旦川河川改修事
業の暫定調節池予
定地の用地買収契約会
が2月初旬に終了し、
工事が進むと思つが見

通しはどうか。南河島
八反地区の工事も進ん
でいるが、完成見込み
はいつ頃か。

A 完成時期について
は明確にできない
が、早期完成にむけ努
力して行く。

A 改正法に従い適正
に実施していく。

Q 制度の内容・採用
方法・任期などに
ついてはどうなるのか
来年4月までの日程を
明確にしてもらいたい。

いる。



工事が進む南河島八反地区連絡水路



秋葉 新一

介護予防・フレイル対策で活動寿命の延伸を

答弁 介護予防サポーターの
人材確保が課題

Q 認知症簡易チェックツール「これって認知症？」は認知症早期発見につながるもの。継続すべき事業ではないか。

A 一年前に認知症に関する連携協定を締結したことを契機に新たな事業展開を検討している。

Q 認知症ケアパスとは、認知症という病気の進行段階に応じた適切なサービスの流れを分かりやすくまとめたものである。全戸配布の検討を。

A 市では、ガイドブック形式の冊子として作成し、相談者や関係機関などに配布している。市民への周知を図るとして視点から、全戸用に新たに作成し配布することも検討したい。

Q フレイルとは「虚弱」という意味で、健康な状態から要介護状態になるまでの中間的な段階で、加齢に伴って心身の機能が低下し要介護になる恐れが高い状態のことである。多面的な取り組みが活動寿命の延伸にならない。

A 栄養、運動、社会参加の3つを柱に地域を巻き込んだ取り組みは健康で長寿なまちづくりに有効である。介護予防サポーターなどの人材確保が課題であり、十分に検討したい。



認知症対策の連携が重要となる介護施設



矢萩 浩次

交流人口・インバウンド拡大への

新たな取り組みは

答弁 第四の観光資源

「サムライ体験」は大化けの予感

Q 交流人口とインバウンドの増加が見込まれる旅行商品「居合道体験プログラム」への取り組みについて。

A 道着を着用し日本刀の真剣を扱う試斬「サムライ体験」は、体験観光として期待が持て大化けする可能性がある。昨年12月商品発売後、マスコミの影響も大きく取材が殺到体験の予約も徐々に増えている。指導者の育成や旅行業実施主体の強化など課題はあるが、林崎地区のおもてなしと居合神社氏子会を中心に地域との連携を深め、素晴らしい旅行商品に育てたい。

Q 地方への観光客の分散や送客・誘客を目指した「日本遺産」に、居合道を認定申請してはどうか。

A 「日本遺産」への登録が有効か調査し判断する。

Q 今後の新たな観光として、東北中央自動車道開通後の全国高速道路ネットワークによる広域交流や、道の駅の移転をどうするか、今後の展開を伺う。

A 高速道路の開通は新たな観光に大きな希望が持てるものと考えられる。道の駅は精査の上、体験型や観光・飲食など他に類のない構想を打ち出し、地域所得の向上に繋げたい。



サムライ体験 試し斬り



菊池 貞好

楯高跡地利活用と中心商店街の再生は

答弁 基本構想の案を提示する

Q 商業の現状について。

A 平成3年に商業は547店舗、売上高は427億円あったが、平成28年には店舗数は253に、売上高は245億円まで落ち込んでいる。この現状を打破するには、地元の人が地元の店舗を大事にする意識を育てることが大切である。

Q 旧楯高跡地の利活用と中心商店街の再生について。

A 旧楯高跡地利活用案に関しては基本構想の案を示させていただいた。パブリックコメントには市内外より23件の意見が寄せられた。子供から高齢者まで多様な利用者を想定し、その利用者を中心商店街の再生につなげていくような施設の設計と運営方針を、31年

度中に市民の皆様に表示させていただく。

Q 中心商店街の空店舗利活用について。

A 中心商店街79店の内24店が空店舗になっている。空店舗の所有者に貸店舗として活用させていただける

か調査した結果、5店舗しかその意思はないことがわかった。コワーキングスペースなどで利用者に起業などを勧めているが、空店舗利活用までは進んでいないのが現状である。

か調査した結果、5店舗しかその意思はないことがわかった。コワーキングスペースなどで利用者に起業などを勧めているが、空店舗利活用までは進んでいないのが現状である。

Q 職員の任用・給与・分限に結びつける新たな人事評価制度の導入で、公務員の目が上司の顔色ばかりうかがい、主権者である住民に向かなくなるのではないか。

A あくまでも職員の意識改革と質の向上が目的だ。

Q 職員の任用・給与・分限に結びつける新たな人事評価制度の導入で、公務員の目が上司の顔色ばかりうかがい、主権者である住民に向かなくなるのではないか。

A あくまでも職員の意識改革と質の向上が目的だ。

Q 会計年度任用職員制度の導入で、本市の臨時・非常勤職員の賃金や待遇は本当に改善されるのか。

A これから検討して6月議会にかける。詳しくは言えないがよくなると思う。

Q 判例に習い、「おおむね常勤職員の4分の3以上の勤務時間」の職員についてはフルタイムとして任用すべきではないか。

A 勤務時間については今まで通りの方



中里 芳之

非正規職員の賃金待遇は改善されるのか

答弁 良くなると思う

向で考えたい。

Q 1年で任期終了ではサービス低下となる職もあるのでは。

A このまま辞めたら影響があるような人は、黙っていても毎回収用になるような制度だと思う。

Q 多くの自治体が個人情報保護の観点から自衛官適齢者名簿を提供していないのは、法の趣旨に忠実な態度だ。本市の提供は、本人の同意を得たものか。個人情報保護条例に違反しない。

A 多くの自治体が個人情報保護の観点から自衛官適齢者名簿を提供していないのは、法の趣旨に忠実な態度だ。本市の提供は、本人の同意を得たものか。個人情報保護条例に違反しない。



楯高跡地利活用基本構想図



市職員の勤務風景



大山 正弘

第五次総合計画進捗はどうか

答弁 確実に進んでいる

Q 第五次総合計画は平成31年度に前期5年が終了するが、特に具体的に完了したところと今後のプロジェクトの進め方を伺う。

A 完了したものとして①商業施設の誘

致②スマイルタウン鶴ヶ町住宅団地分譲③保育の見直し④民間宿泊施設の充実が挙げられる。今後の重点プロジェクトの①人口減少社会における若者の定住促進②楯岡高等学校跡地の活用と中心市街地の再生③東北中央自動車道開通後のまちづくりなど、引き続き強力に進めていく。今後の進捗は市議会への報告のほか、市民へは段階的に市報や市のホームページなどで公開する。残り5年、後期基本計画案についてパブリックコメントを



実現した企業誘致

行い、意見を伺う時間を設ける。今後1年間かけて、来年1月頃を目途に進める。

Q 村山市における空家対策計画の進捗状況と、今後の取り組みについて伺う。

A 平成31年度から情報収集を行い、市

内全域について実施することを検討する。安全安心な取り組みとして、空家の所有者自ら除去する場合は、費用限度額100万円を補助し、平成31年度は10件、一千万円の予算を計上している。



森 一弘

観光専門集団創設について

答弁 観光行政は難しい 今後検討する

Q バラ・徳内・そば街道。四季折々のイベント開催と観光行政頑張っている。しかし、催しが多過ぎ市民がついて行けない。関係者もイベントに追われ疲れきっている。次の戦略が打ち出せない現状である。観光のあり方も変わってきた。インバウンド・交通アクセス、発信など新たな施策が求められている。それには、観光に特化した「観光振興の専門家集団」を創設すべきと考えるが。

A 観光行政は難しい。どういう形にすれば良いか。観光のプロが見つかるか。今ある組織もあるので、今は答えられない。

Q 今まで政教分離と

いつてきたが、居合道発祥の地林崎地区を観光先進地のよう

に「居合道の歴史文化保存地区」とし整備構築すべきでは。村山市の観光の一大拠点にもっていか。面白い考えだ。昨年6月大阪で地震が発生、通学途中の小学生がブロック塀の倒壊で亡くなられた。県内では、一市のみが市内全点検を行う。面白く考えた。昨年6月大阪で地震が発生、通学途中の小学生がブロック塀の倒壊で亡くなられた。県内では、一市のみが市内全点検を行う。面白く考えた。



居合道発祥の地 林崎居合神社

「市民の足」を視る

市で運行している市民バスと買い物バスの状況について把握すべきということ、乗車しました。

始発の山ノ内に向かうまで積雪量の多さに驚きバスを待つ間積雪の状況を視察、山ノ内9時15分発のバスに乗車、富並・西郷での7名の乗車があり、降客は楯岡・駅前で7名、終点の北村山公立病院までは我々だけとなった。西郷から30代と思われる男性は村山駅へと向かっておりました。

村山駅前11時35分発の買い物バスに乗車。ヤマザワ村山店からは重い荷物(買い物)を持って乗車する人など8名の乗車があり、笛田・湯沢での降車で、この買い物バスに大変助けられているとのことでした。市民にとっては重要

な足となっていました。



公共交通機関「市民バス」

産業厚生常任委員会
管内視察 2月14日

雪捨て場の状況

東沢の向原雪捨て場と金谷雪捨て場について、建設課の説明を現場で受けました。今年度は例年になく雪が少なく、5割、7割の利用であること、1月よりガードマンを配置しておりいつもより整然と積み上げられた利用状況となっていました。アートチャイルドケア村山しようよう保育園 平成30年9月に開園し半年になり、97名の



保育園視察の様子

園児が元気よくはだし(床暖房)で遊んでいました。0歳児から5歳児までを29名の保育士で見守っています。園の特色として「眠育」生活のリズムを大切に、保護者への啓蒙を図っているとのことでした。各部屋に空気清浄機が2台ずつ備えられており、感染予防効果があるのかインフルエンザの罹患園児もほとんどいませんでした。送迎来客に対するセキュリティなど安全面でもしっかりした対応になっていました。

市政・公明クラブ
行政視察 1月23～24日

国の施策を勉強

①水道法改正について 水道法の一部を改正する法律の趣旨は、水道施設の老朽化、深刻化する人材不足などの水道事業が直面する課題に対応し、基盤の強化を図ることです。これにより、民間企業が水道事業に参入することは可能になります。その判断はあくまで自治体であります。

②農業政策について 担い手支援策は、強い担い手づくり総合支援、農業の新しい働き方確立の総合対策事業等により推進しています。また、スマート農業は実証プロジェクトとして生産現場への導入を目指して重点的に支援しています。鳥獣被害防止対策は、個体群管理、侵入防止対策、生息環境管理が三本柱で、長期的な取り組みが必要があります。

国への要請活動

関係省庁と県選出国會議員へ雪の状況や人口対策への取り組みを説明し、地方交付税の確保、東北中央道の順調な工事、そして鳥獣対策の推進を要請しました。



県選出国會議員へ要望書を提出

改革クラブ視察
行政視察 2月7～8日

廃校利用について

栃木県塩谷町立熊ノ木小学校は平成11年3月に廃校になりました。地域のシンボルであった学校が廃校になるに当たり、地元住民と利活用の協議を町が約束し、「星ふる里くまの木」としてオープンしました。この施設は、やすらぎと体験・交流

の場であり誰にも気兼ねせず、ゆっくりした時間を過ごしてもらいたいということがコンセプトであります。この施設の特徴は、責任者含め4人が常駐していることです。

茨城県守谷市の大井沢小学校は平成7年に廃校になり新しい芸術を創る・育てる活動を核にしたアーカス構想に市民が賛同して、廃校利用の事業が始まりました。国外から若手現代アーティスト3名を招聘して創作・試行活動を支援していただきました。地元の子供たちとの交流のおかげで英検の合格率が格段に上がった実績がありました。



廃校にポルダリング壁設置 (星ふる里くまの木)

議会報告会

要望をまとめ、市長から回答をいただきました。

一、子どもの屋外の遊び場を各地域に数か所確保されるよう要望する。

回答、平成30年度に五日町児童遊園を整備しました。今後は大久保の北山周辺の整備を地元の方々と協議を行っていきます。

二、市内各所において、通学路の不備が見受けられる。安全に通学できるような配慮を、特に冬期間について除雪体制の強化を望む。

回答、村山市通学路安全推進協議会において、通学路の安全を確保するための合同点検や安全対策を継続的に実施しています。今後も、通学路安全推進について改善・充実を図っていきます。

三、各地域で通学班を編成できない地区ができており、登下校の不安をなくすため、スクールバス配置の検討を望む。

回答、通学班の集場所までは、保護者などの付き添いにより対応しています。今後も学校・保護者と連携をとりながら登下校の安全対策を図っていきます。



議会報告会の様子

四、施設を利用する児童数が多く、従来の施設では狭い現状にある。スペースの確保と指導者の拡充について早急な対応を要望する。

回答、放課後児童クラブは利用児童が増加しており、また保護者の変化する保育ニーズにも対応しながら運営しているところです。スペース確保や指導員の充実については、学校も含めた関係機関で協議しながら、可能な範囲で対策を講じていきます。

五、小規模の児童保育でも安心して運営できるように、市独自の財政支援を講じられるよう要望する。

回答、将来を見ずして、小規模の児童保育でも安心して運営に支障が出ないよう、現在も委託料などに加算を対応しています。今後も各児童クラブが安心して運営できるよう支援していきます。

六、指導者不足解消のため、キャリアアップ処遇改善事業導入のほか、人材が確保できるような措置を要望する。

回答、指導員人材確保のため、平成31年度は各児童クラブへのキャリアアップ処遇改善事業を導入する予定です。

議会活動

1月

- 15日 村山市消防職員意見発表会
議会運営委員会協議会
会派代表者会議
- 17日 新春林政講演会
- 21日 全員協議会
- 23日 市政・公明クラブ要請活動（～24日）
- 25日 天童市議会との情報交換会
建設業協会新年会
- 28日 経営者懇話会講演会・新年祝賀会
- 31日 河北町議会との情報交換会

2月

- 1日 議会報告会の要望等について市長と面談
- 5日 全国市議会議長会基地協議会総会（～6日）
- 6日 全国市議会議長会高速自動車道協議会総会（～7日）
- 7日 改革クラブ視察（～8日）
- 13日 北村山広域行政事務組合議会議員研修会
- 14日 産業厚生常任委員会協議会
産業厚生常任委員会管内視察
後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 15日 総務文教常任委員会協議会
総務文教常任委員会管内視察
- 18日 会派代表者会議
- 19日 広域斎場事務組合議会定例会
- 20日 全員協議会
東根市外二市一町共立衛生処理組合定例会
- 22日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 25日 市議会議員OB会研修会
- 28日 全員協議会
3月定例会本会議

3月

- 5日 一般質問（～7日）
- 11日 予算特別委員会
- 12日 常任委員会・予算分科会（～14日）
- 16日 中学校卒業式
- 18日 予算特別委員長会・常任委員長会
議会運営委員会
小学校卒業式
- 20日 全員協議会
予算特別委員会
本会議
段々ロングなひな祭りオープニング
- 22日 議会だより編集委員会
北村山公立病院組合議会定例会
- 23日 東北中央自動車道東根北1C開通式
- 27日 北村山広域行政事務組合議会定例会
- 28日 議会だより編集委員会

3月6日、大久保小学校6年生15名が議会傍聴に訪れました。一般質問の2日目、市内の商店の活性化の質問を聴いて、後日レポートをいただきましたので紹介します。



〈感想〉

*市長さんや関係課長さん、教育長さんなどの全員が平等に話し合うことはとても難しいと思いました。村山市の偏っている所をどうするのかについて分かりやすく具体的に語っていたので、たくさんメモすることが出来ました。

(細矢 芹香)

*今日の市議会を見学して、村山市のことを考える時、平等に考えることの大切さと難しさを知りました。話し合いの中でもより深く話し合っていたので、良い市が出来るのだと思いました。ぼくも市長さんのように村山市全体のことを考えられる大人になりたいです。

(奥山 正隆)

*市議会を見学して、私たちの生活のために、人口のこことや産業についていろいろな視点から意見が出され、「なるほどな」「確かに」「と思うことがあって、夢中になりました。」

(奥山 友結)

*市議会を見学したことは、物事を考えるチャンスに

なつたと思います。いろいろな方向で考えることはそんなに大変なことなのだなと思いました。だから、みんなにとってどういう意味になるのか、どうなるのか、考える力を付けたいと思いました。一方の人々にだけ有益な条件を付けない人になりたいです。

(日塔 華蓮)

私たちも考えました!

(一部をご紹介します)

テーマ どうやったら村山市内の商店がにぎわうだろうか

*村山市には外国人が好きな昔の建物が多い

→ 利用してお客さんをお呼ぶ直売所に名物を

*マーケットは種類が豊富で一気に買えるが商店街は

一つ一つ行かないといけない

→ 一つの商品に特化する。産直に届けるなど、もっとみんなと話し合いたい。

*ポイント制、観光やテーマ化する。

*空き家をリフォームして住む人を増やす。

じゅんさいのおいしい食べ方教室。

スタンプラリー。

審議結果報告

(3月定例会において賛否の分かれた議案について掲載しました)

| 議案の名称 | 議員名 | 議決結果 | 市政・公明クラブ | | | | | | | 日本共産党 村山市議団 | | 改革クラブ | | 無会派 | | | 賛成 | 反対 | |
|---|-----|------|----------|--------|-------|------|-------|-------|--------|----------------|-------|-------|------|-------|-------|-------|----|----|------|
| | | | 矢萩 浩次 | 高橋 菜穂子 | 石澤 祐一 | 森 一弘 | 大山 正弘 | 茨木 久彌 | 海老名 幸司 | 川田 律子 | 中里 芳之 | 犬飼 司 | 結城 正 | 菊池 貞好 | 佐藤 昌昭 | 秋葉 新一 | | | 長南 誠 |
| 市長提出議案 議第18号 村山市一般職の職員の給与に関する条例及び村山市職員の分限に関する条例の一部を改正する条例について | | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | ○ | 議 | 9 | 5 |

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

○=可決 ○=賛成 ×=反対 議=議長

〈表紙について〉

Pop Candy's (ポップキャンディーズ)

3月3日、戸沢地域ふるさとづくり演芸大会で、ダンスを披露してくれました。

4歳から15歳までの女の子25名で、「見ている人に元気と笑顔をお届けできること」を心がけているチアダンスサークルです。月2～3回の木曜日19時半～21時、甌葉プラザホールにて練習しています。いつでも見学にいらしてください。徳内まつりなどのステージや老人ホームでも出演しています。



議会の傍聴へお気軽においでください。

◎本会議だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。会議の予定はホームページなどでお知らせします。

◎インターネット中継も配信中

詳しくは、<http://www.gikaitv.net/dvl-murayama/index.html>

村山市議会→議会中継(ライブ中継・録画中継、外部リンク)より

スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。



←携帯からはコチラ



委員長 秋葉 新一
副委員長 川田 律子
委員 結城 正
石澤 祐一
高橋 菜穂子
矢萩 浩次
犬飼 司

議会だよりは、10号となり、平成最後の発行です。広報活動の議会だよりですが、市民の皆さまの声を聴く傍聴にも努めたいと思います。(高橋)

あとがき